

## 医芸とスポーツ

### 広島バックス、アウェイで勝利!!

とき 平成26年11月30日(日)

ところ 大阪府吹田市 万博記念公園野球場

広島市南区皆実町 真田病院 真田 博明



試合後の広島バックスメンバー

広島・大阪両医師会の軟式野球定期戦。約40年続く伝統の1戦である。われわれ広島県医師会野球部バックスはこの日のためにこの一年間病院チームや広島弁護士会チーム、社会人企業チームなどとの実戦も踏まえ練習を重ねてきた。大阪府医師会野球部エムディーズとは戦力、気力とも拮抗しており、例年接戦になっている。

昨年はホームで延長戦を制し、連敗をストップさせた。アウェイで勝ってこそ本物であるが、ホームゲームと違いアウェイは何かと不利なものである。

まず、メンバーが全員医師であるため、急患や患者の状態悪化で参加できなくなる先生もいる。ホームならそれでもなんとか参加できる場合でも大阪遠征となるとそうはいかない。今回

も前日当日と3名の先生が参加できなくなり、ギリギリの総勢10名で大阪に乗り込むこととなった。

今回試合が開催される大阪万博記念公園周辺は、大阪大学病院や国立循環器病センターなどがあり広々としているのだが、周辺は高速道路のインターチェンジやモノレールが交差していたり、交通量の多い一方通行が多かったりと、地元のタクシーの運転手さんでも広大な公園の中にある野球場に辿り着くにはカーナビ頼りとなってしまう、結局野球場から2km程離れた地点から各自が重装備を持って歩くはめになってしまった。これもアウェイの洗礼である。

優勝カップ争奪戦の第一試合はビジター広島先攻で開始。大阪先発の左腕濱崎投手には近年

手こずっているが、先頭打者の石田誠先生(メディクス広島健診センター)が右翼への2塁打で出塁。石田は2週間前の試合で右膝ハムストリングスを痛めていたが、流石の打撃センスである。2番金丸博先生(舟入市民病院小児科)はすかさずサイン通りの送りバンド、3番坂井寛先生(尾鍋病院外科)がレフト前へのタイムリーヒットで鮮やかな先制攻撃を決めた。

後攻は大阪エムディーズ、広島先発投手は小生、真田博明。例年大阪戦の前夜は緊張のあまり一睡もできないことが多いのであるが、今回は前夜焼酎1杯とハルシオン0.125mgを服用し、気持ち良い朝を迎えることができていた。ピッチングはとにかく左右のコーナーをきっちりを使い分ける事だけを心がけたが、ストレートの走りがいつになく良い。西原雅浩先生(土谷総合病院外科)のインサイドワークも冴え渡り、レフト藤原敬士先生(福山市民病院循環器内科)、センター坂井寛先生の好捕などもあり、初回は3者凡退で切り抜けた。2回の広島攻撃は兎玉一郎先生(真田病院産婦人科)からである。相手は左腕の濱崎投手が先発でくることを想定し、今年はスイッチヒッターの練習を医局でもしていたが、これが功を奏し、いきなり右打席で左中間へのツーベースを放った。その後も連打が続きこの回一挙4点を挙げた。しかし大阪も底力がある。油断はできない。3回以降は相手濱崎投手も本来のペースを取り戻し、投手戦の様相を呈したが、5回広島攻撃で駄目押しの1点を広島が取り、これで勝負あった。結果的には7対0の大勝であったが、点が取れる場面では集中して積極的に取りにいくというチーム方針の徹底と、メンバーそれぞれが日々の診療・研究・そ

の他で忙しい中、時間を作って練習した賜物であった。

広島バックスのチームエラーが大阪4に対し広島が0であったというのも特筆したい。ミスをした方が負けるという典型的な試合であった。

試合終了後、新大阪駅前のメルパルク大阪に会場を移し、懇親会が行われた。アルコールが進み、野球談義のほか日々の診療の苦労話などを交えながら和やかに時は流れたが、大阪の面々はホームでのこれだけの大敗は記憶にないと悔しさを露にしていた。

今回の第2試合には大阪重鎮の御年88歳になれる川島先生が久しぶりに出場された。広島、藤原投手は空気を読まなかったのか、さじ加減をせず速球勝負し、結果四球。さらに牽制球で川島先生は転倒、タッチアウトとなった。しかし席上で川島先生はたとえ年をとっても広島の選手が真剣勝負をしてくれたのは嬉しい。もし手加減されてヒットを打てたとしても全然嬉しくないわい、と言っておられたのが印象深かった。その後、来年の再会を約束し、広島バックスのメンバーは大阪を後にした。帰り際、大阪投手濱崎先生が来年は広島を完封してやると言い残し、降り始めた雨の中、大阪の街へ消えていった。

来年は広島での開催である。大阪は必ず対策を立ててくるであろう。気を引き締めて準備をしたい。

最後になりましたが、広島県医師会会員の先生方、ご支援ありがとうございます。次回は広島での開催です。頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 広島・大阪医師会軟式定期戦 成績

### 第1試合

広島	1	4	1	0	1	0	0	7
大阪	0	0	0	0	0	0	0	0

### 第2試合

広島	0	0	1	3	0	4
大阪	1	1	0	1	0	3

### バッテリー

(広島) 真田博 — 西原  
(大阪) 濱崎 — 川野

### 打撃成績

	打	安	打点
(遊) 石田 誠	4	- 2	2
(一) 金丸 博	4	- 0	1
(中) 坂井 寛	4	- 1	1
(左) 藤原 敬士	4	- 1	
(投) 真田 博明	4	- 0	
(三) 兎玉 一郎	3	- 2	1
(二) 水野 隼登	3	- 1	
(捕) 西原 雅浩	3	- 0	
(右) 奥本 勇二	3	- 1	